

## 第17回 議会改革調査特別委員会 会議録

---

日 時 令和7年10月15日（水曜日） 午前9時28分 ～ 午前10時50分  
場 所 白杵庁舎議会棟 議会応接室

---

### 出席委員の氏名

委員長 伊藤 淳                      副委員長 梅田 徳男  
~~委員 川辺 隆~~                      委員 芝田 英範                      委員 安東 鉄男  
委員 甲斐 尊                      委員 平川 幸司

---

### 欠席委員の氏名

（ 委員 川辺 隆 ）

---

### オブザーバー

（ な し ）

---

### 説明のため出席した者の職氏名

（ な し ）

---

### 出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英    次長 小嶋佳希    書記 原 伸行    副主幹 工藤真里子

---

### 傍聴者

（ な し ）

---

### 協議事項

1. 議会生配信の拡大について（振り返り）
  2. 議場コンサートについて
  3. 議員間討議会について
  4. 市民アンケート結果の検証について
  5. その他
- 

午前9時28分 開議

## 協議事項

### 1. 議会生配信の拡大について（振り返り）

○委員長（伊藤 淳）

9月定例会から実施したケーブルテレビの生中継について、感想や市民からの反響を聞いていれば、お知らせいただきたい。

○委員（意見）

- ・これまでも議会の録画放送を楽しみにしていた方に感想を聞いたところ、すぐに見ることができると喜んでいて。今回は、12時過ぎた場合、ほかの番組を流すと事前に聞いていたが、白杵ケーブルネットの配慮で放送していただいた。一般質問の場面などでは、議員もその点配慮できればと感じた。
- ・今回の一般質問の中でも議長から発言について、注意される場面もあったが、市民の関心を引き寄せるように、堅苦しい議会とならないよう、柔らかな雰囲気づくりや面白いと感じてもらえる工夫など、一定程度ルールを踏まえた上で検討が必要ではないかと感じた。
- ・一般質問のやり取りの内容について、地域の人から何度か聞かれることがあり、関心の高まりを感じた。
- ・議会全体には緊張感を感じたが、ケーブルテレビの放送で、ある議員の寝ている様子を切り取られたと聞いたので、議員それぞれがもっと緊張感をもってやれたらよいと感じた。
- ・議会の生中継の開始について、広報が足りず、まだまだ浸透していないと感じた。また、一般質問などは、長時間にわたるため、自分と関わりのある議員の一部分しか視聴しないと思われるので、切り抜き配信などを行った方が、関心を持ちやすいのではないかと思う。
- ・議会の生中継を開始したことで、録画放送の回数が減ったのかと聞かれた。

⇒◎事務局

- ・今回は、これまでの録画放送に生中継を加え、計5回放送している。録画放送については、視聴数等を踏まえ、減らしていく検討も必要だと考えている。
- ・ユーモアもって明るい雰囲気づくりもよいが、まずは内容が大切だと思う。一般質問と答弁の内容自体をしっかりと工夫していくことが重要。なれ合いなどなく、事前に大まかな内容を打ち合わせしたとしても、答弁にあわせて再質問を鋭く行うことで、緊張感を持った中で行えるようにすべき。
- ・YouTubeへの拡大については、技術的には可能だと思うが、今定例会の一般質問の中でも、休憩を繰り返すような場面があり、それをそのまま放送されてしまうのは心配の部分のあり、もう少しじっくり考えるべきだと感じた。
- ・YouTubeや委員会の配信についても、実施している他市等の問題点を見ながら、開かれた議会の実現のため、検討できれば良いと思う。

- 【協議結果】**
- ・ケーブルテレビの生中継を令和7年度中の定例会で引き続き、検証する中でYouTubeの導入について検討。
  - ・市民に議会中継に関心を持ってもらう方法についても、引き続き検討。

## 2. 議場コンサートについて

◎事務局（原 伸行）

（ 配付資料に基づき説明 ）

○委員長（伊藤 淳）

今後の検討事項のうち、現時点で対応が必要なものについて検討していきたい。まず、費用の工面について、検討していきたい。

○委員（平川 幸司）

ピアノは、市内の業者と協議して、電子ピアノでこちらが持ち運びする場合の金額は確認済、現在は、そのピアノで対応可能かを学校に確認中。

◎事務局

ピアノの準備以外は、生徒や演奏者へのお礼、送迎用のバスの費用となる。生徒へお礼、演奏者への交通費やお礼については、学校側からこれまでの状況などをお聞きした上で、今回提案としているところ。公費又は議員互親会による支出を考えているが、議員互親会での支出は、寄付行為に該当するかなどの判断があり、選挙管理委員会に確認中。結果により支出方法は決定したい。生徒の送迎については、市のマイクロバスにて行うよう手配済み。

○委員長（伊藤 淳）

前回の議場コンサートでは、支出の一部を議員互親会で行っているため、費用負担の一部を議員互親会で行えるか検討しているが、仮に議員互親会から支出するものがあれば、会派代表者会議に諮り、全員協議会で説明する必要がある。該当があれば、今後の議会での日程等も見ながら行いたいと思いで、承知してほしい。

次に、観客席については、傍聴席及び議場の議員席後ろ、議場に入れなかった場合の会議室の流れを想定している。何かご意見などはありますか。

○委員（意見）

- ・議員席を観客にすることで、より多くの人が会場に入ることができるようになるのでは。
- ・合唱部の部員44名は多いので、一列目の議員席は使用せず、該当議員は後ろに別途席を設けるなどの対応が必要では。

⇒◎事務局

- ・合唱部の歌唱場所は、登壇席なども活用すれば、議員席を観客席に使っても影響はないと考えている。

- ・議員席に当該議員以外が座ることについて、例規的に問題がないかの確認をしてほしい。

⇒◎事務局

- ・議場コンサートは、開会前の休憩中となるので、例規、先例的な問題は特にないと考えている。ただし、議員席に座る人の選定方法と演奏時の議員の場所の検討が必要。

⇒○委員

先着順が分かりやすく、管理しやすいのではないかと。先着18名を議場に誘導し、その時点で空いている議席を選んでもらうということでは。

○委員長（伊藤 淳）

次に、議場コンサート実施後のアンケートの実施について協議してほしい。前回の内容にそって実施したいと思うが、よいでしょうか。

（ 「異議なし」の声 ）

○委員長（伊藤 淳）

議員配置等、当日の詳細な運用については、次回、具体的な案を提案したい。

**【協議結果】・費用負担については、議員互親会の負担可能範囲を把握した上で決定。**

**・議場内の議員席は、観客に開放し、議員は議員席後ろに別途、席を設ける。議員席は先着順（希望者のみ 18名）とする。**

### 3. 議員間討議会について

◎事務局（原 伸行）

（ 配付資料に基づき説明 ）

○委員長（伊藤 淳）

議員間討議会の結果と今後の実施方法については、次回以降も継続して協議を行う。配布資料の内容は確認しておいてほしい。

### 4. 市民アンケート結果の検証について

◎事務局（原 伸行）

（ 配付資料に基づき説明 ）

○委員（梅田 徳男） ※議員定数等調査特別委員会委員長

議員定数等調査特別委員会で実施した市民アンケートのご意見の欄を見ると、議会及び議員が取り組むべき内容がたくさんあると感じている。中身を十分に把握し、取り組んでいくことで、議会改革につなげていければと考えている。

○委員長（伊藤 淳）

市民の意見の詰まった大事な資料、内容を十分に把握し、その対応等について検討していきたい。

### 5. その他

○委員長（伊藤 淳）

次回開催日は、議員間討議会前の、11月19日（水）10時から実施することとしたい。

午前10時50分 閉会

白杵市議会委員会条例第30条第1項の規定を準用し、ここに記録を作成する。

令和7年10月15日

議会改革調査特別委員会

委員長 伊藤 淳